

佐賀大学
海洋エネルギー研究センター報告
2017年度



目次

巻頭言	1
活動経緯	2
第 12 回再生可能エネルギー世界展示会に佐賀県とのコラボで出展	3
ひらめき☆ときめきサイエンス	4
「海からエネルギーを取り出そう海洋エネルギーで作る未来！」	
文部科学省における海洋エネルギー研究センターの企画展示	6
【佐賀大学による講演】海洋エネルギーへの挑戦	7
～海にはロマンと一緒に、エネルギーの未来がある～	
「第 6 回国際風力発電展 (Wind Expo 2018)」に佐賀県と共同で出展	8
セミナー・シンポジウム等報告	9
第 16 回 海洋エネルギーに関する合同研究セミナー	9
第 14 回 海洋エネルギーシンポジウム 2017 (OES2017)	13
平成 29 年度 共同利用・共同研究成果発表会	15
第 4 回 若手研究者のための海洋エネルギーに関する国際プラットフォーム人材育成事業	16
第 11 回 海洋エネルギーに関する国際セミナー 2018	23
平成 29 年度 佐賀大学海洋エネルギー研究センター成果発表会	25
施設見学会	26
2017 年度 佐賀大学海洋エネルギー研究センター 伊万里サテライト・オープンラボ	26
2017 年度 見学会実績	30
佐賀大学オープンキャンパス 2017 における海洋エネルギー研究センターの 企画展示「海洋エネルギーへの挑戦」	31
組織	32
業績集	34
学術論文	35
国際会議 Proceedings	39
国内学会発表	45
資料・解説・論説・研究報告等	53
新聞・テレビ	54

巻頭言

海洋エネルギー研究センター長

永田修一

本センターは、平成 22 年度から平成 27 年度の 6 年間に引き続き、平成 28 年度以降についても、文部科学大臣から共同利用・共同研究拠点として認定されました。本センターでは、平成 28 年度から平成 33 年度を第 3 期中期目標・中間計画期間として位置付け、共同利用・共同研究拠点として、従来から戦略的・重点的に推進してきた「海洋温度差発電」、「波力発電」とともに、新たに「潮流発電」、「洋上風力発電」に関する基礎的・実証的研究を充填研究開発テーマとして位置付け、関連する研究体制の整備や設備の充実を図り、海洋エネルギーに関する世界トップレベルの総合的・国際的な研究拠点を目指しています。

本報告書は、第 3 期の 2 年目となる平成 29 年度のセンター活動内容をまとめたものです。平成 29 年度は、本センターの「伊万里サテライト」と「久米島サテライト」の 2 つの研究拠点をベースに、研究面では、海洋温度差発電、波力発電、潮流発電に加え、洋上風車に関する研究を中心に実施しました。海洋温度差発電に関しては、NEDO での実証プロジェクトとして、久米島の海洋温度差発電設備を活用し、2 段ランキンサイクルに関する研究等を実施しております。久米島サテライトにおいては、海洋温度差発電の後の海水を利用して、水素製造および海水淡水化の研究を継続して実施しております。波力発電に関しては、浮体式及び固定式の振動水柱型装置を中心に、発電性能向上に関する研究を実施しております。潮流発電に関しては、本センターで開発した案内羽根付衝動タービンをを用いた装置の開発や相反転プロペラ式潮流発電装置の開発を行っております。洋上風車に関しては、スパー型の浮体の形状に関する研究を実施しております。

また、共同利用・共同研究拠点として、国内外の研究機関から 70 件の共同利用研究を受け入れ、受け入れ件数として、昨年度を大きく上回った共同利用研究を支援するとともに、海洋エネルギーシンポジウム、海洋エネルギーに関する国際セミナー、海洋エネルギーに関する合同研究セミナー、共同利用・共同研究成果発表会、本センターの研究成果発表会を実施して、関連コミュニティから多数の参加を得ました。第 4 回となる「若手研究者のための海洋エネルギーに関する国際プラットフォーム人材育成事業」を継続して実施しました。この事業は、今年度も科学技術振興機構の「日本・アジア青少年サイエンス交流事業」と合同で実施して、17 の国と地域から 28 名の若手研究者の参加を得ました。

以上の詳細につきましては、本報告書をご確認頂ければと存じます。

本センターは、業績集の発行および年度末に行う成果発表会によって、「自己点検および評価」を行い、外部の方々の評価および指導を受けながら、設置目的を達成すべく運営を行っていく所存です。今後とも、本センターの運営にご協力及び御高配のほど、宜しくお願い致します。

活動経緯

期 日	行 事	会 場
2017. 7. 5-7	第 12 回再生可能エネルギー世界展示会に佐賀県とのコラボで出展	パシフィコ横浜
2017. 7. 15	伊万里サテライト・オープンラボ	IOES 伊万里サテライト
2017. 7. 15	ひらめき☆ときめきサイエンス「海からエネルギーを取り出そう海洋エネルギーで作る未来！」	IOES 伊万里サテライト
2017. 8. 10	佐賀大学オープンキャンパス 2017 における海洋エネルギー研究センターの企画展示	佐賀大学 本庄キャンパス
2017. 9. 1-10. 23	文部科学省における海洋エネルギー研究センターの企画展示	文部科学省 2 階 エントランスホール
2017. 9. 21	第 14 回 海洋エネルギーシンポジウム 2017	佐賀大学 本庄キャンパス
2017. 9. 22	平成 29 年度 共同利用・共同研究成果発表会	佐賀大学 本庄キャンパス
2017. 9. 28	【佐賀大学による講演】海洋エネルギーへの挑戦～海にはロマンと一緒に、エネルギーの未来がある～	文部科学省 「情報ひろばラウンジ」
2017. 11. 20-11. 25	第 4 回 若手研究者のための海洋エネルギーに関する国際プラットフォーム人材育成事業	IOES 伊万里サテライト
2018. 2. 28- 3. 2	「第 6 回国際風力発電展 (Wind Expo 2018)」に佐賀県と共同で出展	東京国際展示場
2018. 3. 7	第 11 回 海洋エネルギーに関する国際セミナー 2018	IOES 伊万里サテライト
2018. 3. 8	平成 29 年度 佐賀大学海洋エネルギー研究センター成果発表会	IOES 伊万里サテライト

第 12 回再生可能エネルギー世界展示会に佐賀県とのコラボで出展

日付：2017 年 7 月 5 日～7 日

会場：パシフィコ横浜

佐賀大学海洋エネルギー研究センターは、2017 年 7 月 5 日から 7 日にかけてパシフィコ横浜で開催された「第 12 回再生可能エネルギー世界展示会」に、佐賀県と共同で出展しました。

この展示会は、再生可能エネルギーをはじめ、エネルギーと環境の全分野において、地球環境保全に貢献する製品・技術・サービス・周辺機器・情報を展示することを目的として開催する世界的な展示会で、94 社・団体が出展、3 日間を通じて約 27,000 人が来場しました（主催：再生可能エネルギー協議会、共催：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構等、後援：経済産業省、文部科学省等）。

佐賀大学海洋エネルギー研究センターのブースには、センターが開発した波力発電用タービンや、潮流発電装置などを展示しました。ブースでは、国内はもとより、海外の企業・研究者・在日公館・プレスなどの来場者から質問が寄せられ、当該分野の研究開発競争を背景とした関心の高さがうかがわれました。

また、世界展示会の併催イベントとして開催された「再生可能エネルギー世界フェア 2017」では、海洋エネルギー分野のフォーラムにおいて、池上教授と今井准教授が、海洋エネルギー資源利用推進機構(OEA-J) 分科会を代表して、それぞれ海洋温度差発電、波力発電における国内外の活動状況と最新動向を報告しました。このフォーラムには、定員 180 名を超える多くの参加者があり、活発な意見交換が行われました。



佐賀県との共同出展ブース

ひらめき☆ときめきサイエンス 「海からエネルギーを取り出そう海洋エネルギーで作る未来！」

日付：2017年7月15日 9:30～16:00

会場：佐賀大学海洋エネルギーセンター 伊万里サテライト

2017年7月15日、海洋エネルギー研究センターは伊万里サテライトにおいて「ひらめき☆ときめきサイエンス -海からエネルギーを取り出そう海洋エネルギーで作る未来！-」を開催しました。「ひらめき☆ときめきサイエンス」は大学や研究機関で「科研費」(KAKENHI)により行われている最先端の研究成果に、小学5・6年生、中学生、高校生の皆さんが、直に見る、聞く、触れることで、科学のおもしろさを感じてもらおうプログラムとして日本学術振興会と実施機関が連携して行っているものです。

本センターでは、海洋エネルギーに関する科研費研究の成果について触れてもらうために、「-海からエネルギーを取り出そう海洋エネルギーで作る未来！-」と題し高校生対象とした講義及び実験形式での科学教室を、有馬准教授を実施代表者として企画しました。本プログラムは今年度初めての開催です。

本プログラムでは県内外からの9名の高校生の参加があり、午前中は3件の講義と施設見学会、午後は3件の実験が行われました。講義では、海洋温度差発電(担当:池上教授)、熱交換器(担当:有馬准教授)、波力発電(担当:永田教授)に関する講演が行われ、受講生には大学の講義の雰囲気に触れてもらいました。施設見学会では、伊万里サテライト内の海洋エネルギーに関する様々な装置について説明が行われました。また、午後の実験では、熱交換器(担当:有馬准教授)、海洋温度差発電(担当:安永助教)、波力発電(担当:村上准教授)に関する実験が準備され、受講生には希望の実験にそれぞれ分かれて、大学で行われている実験の体験をしてもらいました。実験終了後には実験についてまとめる時間を設け、また、実験結果の発表会も行いました。プログラムの終わりには受講生全員に「未来博士号」の授与を行いました。

プログラム

- 9:30～10:00 受付 (集合場所: 佐賀大学海洋エネルギー研究センター伊万里サテライト)
- 10:00～10:20 開講式 (挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)
- 10:20～10:45 講義①「海洋温度差発電(講師:池上康之)」
- 10:55～11:20 講義②「熱交換器(講師:有馬博史)」
- 11:20～11:45 講義③「波力発電(講師:永田修一)」
- 11:45～12:30 昼食・休憩 (伊万里サテライト内)
- 12:30～13:30 施設見学
- 13:40～13:50 休憩・移動

13:50～14:50 実験①～③ (3 班に分かれて同時進行で実施)

実験①「海洋熱エネルギーを取り出す」

実験②「海洋熱エネルギーで発電を行う」

実験③「波の力で発電を行う」

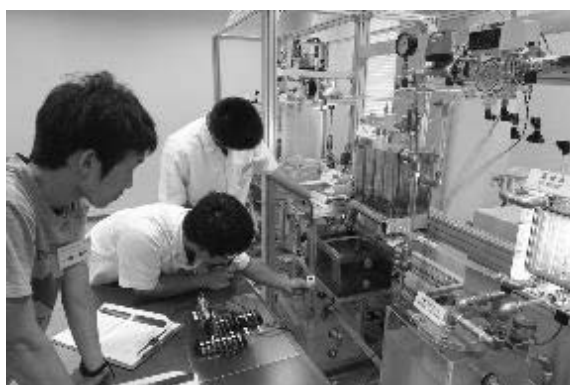
14:50～15:00 休憩・移動

15:00～15:20 ディスカッション (実施者と受講生との交流)

15:20～16:00 修了式 (未来博士号の授与)



開会式



実験の様子



ディスカッションの様子



修了式

文部科学省における海洋エネルギー研究センターの企画展示

日付：2017年9月1日～10月23日

会場：文部科学省2階 エントランスホール

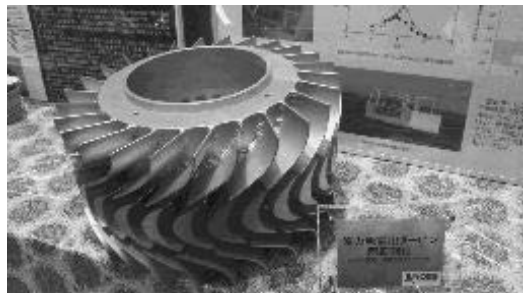
佐賀大学海洋エネルギー研究センター（IOES）は、文部科学省2階のエントランスホールにおいて、「海洋エネルギーへの挑戦～海にはロマンと一緒に、エネルギーの未来がある～」と題した企画展示を9月1日より始めました。

会場においては、海洋温度差発電、海水淡水化装置の模型や波力発電用タービンを展示し、同センターの取り組みを分かりやすく紹介しました。

また、開催に先立ち、西井学術機関課長らが視察され、永田センター長、浦田技術専門職員がそれぞれ研究内容の説明を行いました。



海洋温度差発電、海水淡水化装置の模型



波力発電用タービン



波力発電の説明を受ける西井課長



海洋温度差発電等の説明を受ける西井課長ら

**【佐賀大学による講演】海洋エネルギーへの挑戦
～海にはロマンと一緒に、エネルギーの未来がある～**

日付：2017 年 9 月 28 日

会場：文部科学省 「情報ひろばラウンジ」

文部科学省のエントランスにおいて、本センターの研究、教育活動に関する展示を行うとともに、海洋エネルギー研究に関する講演会を開催しました。講演会では、永田修一センター長からセンターの取組や波力発電などの研究について、池上康之副センター長から海洋温度差発電の研究について、それぞれ説明を行いました。

「第 6 回国際風力発電展（Wind Expo 2018）」に佐賀県と共同で出展

日付: 2017 年 2 月 28 日～3 月 2 日

会場: 東京国際展示場（東京ビッグサイト）

佐賀大学海洋エネルギー研究センターは、2018 年 2 月 28 日から 3 月 2 日にかけて東京国際展示場（東京ビッグサイト）で開催された「第 6 回国際風力発電展（Wind Expo 2018）」に佐賀県と共同で出展しました。

本展示会は、毎年開催されている日本最大の風力発電展であり、今回は約 190 社が展示ブースを設けました。本展示会では太陽光発電、バイオマス発電など、スマートエネルギー分野の 8 展が同時開催されており、全体の入場者は約 8 万人に達しました。

共同展示ブースでは、石田教授が考案した新しい型式の洋上風力発電施設の模型展示・説明を行いました。また、政府が佐賀県唐津沖海域で進める「海洋再生可能エネルギー実証フィールド」の説明を行った他、上空 300m の風速・風向分布や潮流の流速・流向を同時計測する観測ブイの模型を展示しました。

本ブースには、企業・研究者など多くの来場者から活発な質問等が寄せられ、洋上風力発電に対する近年の関心の高さがうかがわれました。



佐賀県との共同展示ブース



海洋エネルギー研究センターの展示

第 16 回 海洋エネルギーに関する合同研究セミナー

日時：2017 年 10 月 14 日～15 日

会場：Room 801, YUKOU BLD. (福岡市, 日本)

海洋エネルギーに関する合同研究セミナーは、日韓の研究者における海洋エネルギー研究に関する学術交流と若手研究者の教育を主な目的として、毎年夏に開催しています。セミナーでは毎回、オーラルセッションとポスターセッションが行われ、海洋エネルギーやその周辺技術に関する研究について活発な討論を行っています。今年度は福岡で開催し、全参加者数は 39 名で、若手研究者による 13 件（オーラル 8 件、ポスター 5 件）の発表を行いました。

参加機関：Korea Maritime & Ocean Univ. (KMOU)

Mokpo National Maritime Univ. (MMU)

水産大学校 (NFU)

佐賀大学 (IOES)

参加者数：39 名

KMOU 6 名 (教職員 3 名, 大学院生・学部生 3 名)

MMU 1 名 (大学院・学部生 1 名)

NFU 4 名 (教職員 2 名, 大学院生・学部生 2 名)

IOES 28 名 (教職員 9 名, PD 2 名, 大学院生・学部生 17 名)

Program

October 14th (Saturday)		
14:30-15:00	Registration	
15:00-15:10	Opening Address	Prof. Shuichi Nagata, IOES
Oral Session 1		
15:10-15:30	A Numerical Prediction of Tip Vortices from Tandem Propellers in the Counter-Rotating Type Tidal Stream Power Unit	HoYun Jung, IOES
15:30-15:50	Design and CFD Performance Analysis of Tidal Turbine with Diffuser	In Cheol Kim, KMOU
15:50-16:10	Vortex Shedding from Blade Tips of Counter-Rotating Propellers Installed in Tidal Stream Power Unit	Pin Liu, IOES
16:10-16:30	Coffee Break	
Oral Session 2		
16:30-16:50	Characteristics of Gas Permeability and Effective Thermal Conductivity in Metal Hydride Packed Bed of CaNi ₅	Kazuki Yoshida, IOES
16:50-17:10	A Parametric Study on Wake Analysis for Horizontal Axis Tidal Turbine	Haechang Jeong, MMU
17:10-17:30	Experimental Research on Performance of Bi-Directional Impulse Turbine and Flow Collector for Tidal Energy Conversion	Fuyuki Nishimura, IOES
October 15th (Sunday)		
Oral Session 3		
09:30-09:50	Study of Optimization Method for Reduction of Required Seawater on OTEC	Takafumi Noguchi, IOES
09:50-10:10	Prediction of Vortex and Swirl Angle in the Sump Pump Model with and without Anti-Vortex Device (AVD)	Byung Ha Kim, KMOU
10:10-10:30	Coffee Break	
Poster Session 10:30-11:00		

P1	Ocean Investigation for Utilization of Ocean Energy in the Sea Region Surrounding Kumejima (Investigation Result in 2017)	Prof. Tetsuya Nishida, NFU
P2	Investigation of Airborne Wind Power Generator using Kite	Ho Seong Yang, KMOU
P3	Robot Movement System using Bluetooth Radio Intensity	Ryotaro Inoue, IOES
P4	Simulation of Floating OWC-type Wave Energy Converter by Vortex Method	Yotaro Noguchi, IOES
P5	Study on Power Conversion of Wave Power	Makoto Fukai, IOES
11:00-11:10	Closing Address	Prof. Yasuyuki Ikegami, IOES



集合写真



講演の様子



ポスターセッション

第 14 回海洋エネルギーシンポジウム(OES2017)

日付：2017 年 9 月 21 日 10:00～16:15

会場：佐賀大学本庄キャンパス菱の実会館

第 14 回海洋エネルギーシンポジウム(OES2017) を佐賀大学本庄キャンパス菱の実会館で開催しました。午前に 2 件の基調講演、午後に 8 件の一般講演を行いました。参加者は 51 名（学外 28、学内 23）でした。

今年度は宇都宮智昭教授（九州大学）および清水勝公氏（清水建設株式会社）に基調講演として登壇して頂きました。

宇都宮教授から「浮体式洋上風力発電の現状と将来展望」の題目で、長崎県五島市における洋上風車実証試験について講演して頂き、実験海域選定、小規模試験機の設置・実験、次に 2MW 級風車を搭載した商用規模実証機の設置・実験についてご説明頂きました。

清水氏から「海洋深層水取水管の実績と展望」という題目で陸上設置型の海洋深層水取水管に関するこれまでの進展と、大量取水を踏まえた今後の開発展開について講演いただきました。

プログラム

10:00-10:05 開会挨拶

<基調講演>

10:05-11:05 浮体式洋上風力発電の現状と将来展望

宇都宮智昭様（九州大学）

11:05-12:05 海洋深層水取水管の実績と展望

清水勝公様（清水建設）

12:05-13:10 昼食

<一般講演>

13:10-13:30 海洋温度差発電プラントの性能評価機能を有する遠隔操作システムの開発に関する研究

江頭成人（久留米高専）

13:30-13:50 海洋温度差発電実験装置の温熱源温水温度数式モデル構築に関する研究

後藤 聡（佐賀大学）

13:50-14:10 冷媒 HFC-245fa を用いた船舶機関の排熱発電システム

大原順一（水産大学）

14:10-14:30 波力発電用 OWC のスケールイフェクトについて

安澤幸隆（九州大学）

14:30-14:50 休憩

14:50-15:10 波強制力予測手法の提案とポイントアブソーバーWECの制御戦略に関する検討

李僑（横浜国立大学）

15:10-15:30 海洋深層水の微生物群集構造解析と抗癌物質生産放線菌の分離

今田千秋（東京海洋大学）

15:30-15:50 2次元数値シミュレーションによるウェルズタービン性能の可能性

鈴木正己（琉球大学）

15:50-16:10 1D/3D 連携解析を用いたサボニウス水車におけるトルク脈動の検討

加藤真嗣（神戸市立工業高専）

16:10-16:15 閉会挨拶



九州大学宇都宮教授



清水建設(株)清水様

基調講演の様子

平成 29 年度共同利用・共同研究成果発表会

日付：2017 年 9 月 22 日 10:00～14:45

会場：佐賀大学本庄キャンパス菱の実会館

共同利用・共同研究成果発表会は、前年度に海洋エネルギー研究センター共同利用・共同研究課題に採択された国内外の研究者による研究成果発表会であり、11 件発表がありました。

プログラム

10:00-10:05 開会挨拶

10:05-10:25 波力発電用直線翼垂直軸タービン(案内羽根による性能改善)

坂口優希（米子高専）

10:25-10:45 ウェルズタービンから発生する空力騒音の低減に関する研究

濱川洋充（大分大学）

10:45-11:05 動揺抑制と波力の回生を可能にする浮体式洋上風力発電 - 回転振動操作関数を用いたタワー傾斜角のサンプル値制御 -

日置拓也（三重大学）

11:05-11:25 海水からの農業用水製造を目的とした簡易脱塩材の創製

和嶋隆昌（千葉大学）

11:25-11:45 超大型浮体端部に取り付けた OWC 型波力発電装置の各種性能に関する基礎的研究

居駒知樹（日本大学）

11:45-12:05 プレート式蒸発器性能向上のための伝熱面性状と沸騰に関する研究

荒巻森一朗（西日本工業大学）

12:05-13:00 昼食

13:00-13:20 二重翼列波力タービンの開発（羽根車形状の影響）

吉田光弘（長崎大学）

13:20-13:40 ターボ形波動ポンプの開発

高尾 学（松江高専）

13:40-14:00 有限垂直円柱から大気圧下の水への膜沸騰の下限界に関する研究 - 局所熱伝達予測手法の再整理について -

桃木 悟（長崎大）

14:00-14:20 OTEC 関連産業により使用された深層水及び表層水排水中に含まれる環境汚染元素のリサイクルバイオ技術の開発研究

仲山英樹（長崎大学）

14:20-14:40 電気二重層キャパシタの原理を利用した海水淡水化

坪田敏樹（九州工業大学）

14:40-14:45 閉会挨拶

第4回 若手研究者のための海洋エネルギーに関する国際プラットフォーム 人材育成事業

日付：平成29年11月20日（月）～11月25日（土）

会場：佐賀大学海洋エネルギー研究センター 伊万里サテライト

第4回目となる海洋エネルギーに関する国際プラットフォーム人材育成事業は、海洋エネルギー研究を行う若手研究者の研究能力向上と学術交流の推進を目的として日本国内および海外から参加者を募りました。今回は、17の国と地域から28名が参加しました。具体的には、アメリカ、イギリス、イラン、インド、インドネシア、エジプト、オランダ、韓国、シンガポール、タイ、中国、パラオ、フィリピン、フランス、ポルトガル、マレーシア、大阪大学、九州大学、山口大学などからの参加です。本事業では、海洋エネルギー研究の第一人者による特別講義、若手研究者による研究発表会、企業視察などを実施しました。

若手研究者による研究発表会では、各発表に対する審査が行われ、5名にベストプレゼンテーション賞が贈られました。グループ討論会では、「What is the barrier to promote Ocean Energy?」「What should we do to promote Ocean Energy?」というふたつの課題に対してグループごとに議論し、グループ毎に討論結果を発表しました。また、企業視察の後、ショートプレゼンテーションとして本事業内容を振り返り、本事業で得られた知見について、参加者が発表しました。

Program

November 20(Mon.),2017

15:30	Registration & Orientation
18:30	Welcome Reception

November 21(Tue.),2017

9:00-9:10	Opening Ceremony Prof. Shuichi Nagata Director of IOES
-----------	--

Special Lectures

9:10-9:50	Ocean Energy Utilization	Prof. Takeshi Kinoshita Nagasaki Institute of Applied Science, JAPAN
9:50-10:30	Advanced Offshore Wind Energy	Prof. Tomoaki Utsunomiya Kyushu University, JAPAN
10:30-11:10	Development of Wave Energy Utilization	Prof. Shuichi Nagata Institute of Ocean Energy, Saga University, JAPAN

11:10-11:20	Coffee Break	
11:20-12:00	Present State and Future Challenge of Tidal Current Power Generation In Japan	Prof. Yusaku Kyojuka Nagasaki University, JAPAN
12:00-12:40	Advanced Ocean Thermal Energy	Prof. Yasuyuki Ikegami Institute of Ocean Energy, Saga University, JAPAN
12:40-14:00	Lunch Break *Optional tour (IOES Facilities)	

Presentations by Young researchers

Session1: Tidal Energy Converter

14:00-14:20	Tidal Turbine Testing: Spanning the Gap between the Laboratory and Tidal Test Site Experiments	Carwyn Huw Frost University Belfast, UK	Queen's
14:20-14:40	Preliminary Mapping of Tidal Energy Density Potency in Lampuyang Strait, Indonesia	Rajuli Amra Osaka University, JAPAN	
14:40-15:00	Electrical Design Aspects of Tidal Stream Turbine Power Take-off Systems	Faisal Mushtaq Wani Technical University of Delft, Netherlands	
15:00-15:20	Multi-objective Optimization of Blade Profiles for a Horizontal Axis Tidal Turbine	Chen Xuemeng Institute of Ocean Technology Ocean College, Zhejiang University, CHINA	
15:20-15:40	Experimental Research on Performance of Bi-Directional Impulse Turbine and Flow Collector for Tidal Energy Conversion	Fuyuki Nishimura Saga University, JAPAN	
15:40-15:50	Coffee Break		

Session2: Wave Energy Converter

15:50-16:10	Performance assessment of Horizontal axis 3-blades for wave power generation in the coastal zone of Thailand	Chanchai Petpongpan King Mongkut's University of Technology Thonburi (KMUTT), Thailand
-------------	--	---

16:10-16:30	Evaluation of Wave Energy Using Numerical Model in Thailand Sea	Sutthida Umjaeng King Mongkut's University of Technology Thonburi(KMUTT) , THAILAND
16:30-16:50	An Efficient Convex Formulation for Model-Predictive Control on Wave-Energy Converters	Qian Zhong University of California at Berkeley,USA
16:50-17:00	Coffee Break	
17:00-17:20	Hydrodynamic Analysis and Optimization of Oscillating Water Column Wave Energy Converters	Kourosh Rezanejad Instituto Superior Técnico, Universidade de Lisboa, Portugal
17:20-17:40	Development of a Nearshore Oscillating Surge Wave Energy Converter with Variable Geometry	Nathan Michael Tom National Renewable Energy Laboratory, USA
17:40-18:00	Ocean Energy development at NIOT, India	Ashwani Vishwanath National Institute of Ocean Technology, INDIA

November 22(Wed.),2017

Presentations by Young researchers

Session3: OTEC

9:00-9:20	A Feasibility Study on Fixed Offshore Platform for Ocean Thermal Energy Conversion (OTEC) Power Plant	Nurul Azizah Binti Mukhlas Universiti Teknologi Malaysia, Malaysia
9:20-9:40	Optimization of ORC (Organic Rankine Cycle) Turbine Design for OTEC (Ocean Thermal Energy Conversion) Power Generation System	Herry Susanto Darma Persada University, INDONESIA
9:40-10:00	Modeling and model validation of the performance of an ammonia-water OTEC demo plant using advanced	Frank Carlo Geschiere Bluerise B.V., NETHERLANDS

	condenser models	
10:00-10:20	Pressure Drop Characteristics of Flow in Parallel Plate Channels with Trapezoidal Disturbance Promoters	Satoshi Hotta Akita University, JAPAN
10:20-10:30	Coffee Break	
10:30-10:50	Development of A Method to Compare the Maximum Power Output of an OTEC Power Plant for The Choice of an Heat Exchanger	Kevin,Davy-Erik Fontaine EPF-Montpellier Engineering School, FRANCE
11:10-11:30	Performance test of 200kW HOTEK power plant	Moon Jung-Hyu Korea Research Institute of Ships & Ocean Engineering, KOREA
11:30-11:50	Tidal Platform Environment Monitoring using Computer Vision	Francis James Olegario Corpuz OceanPixel Pte. Ltd. ,SINGAPORE
14:10-14:20	Coffee Break	

Session5: Offshore Wind Energy and Other Ocean Energy Utilizations

14:20-14:40	Selection and Design of Deep Sea Floating Wind Power Foundation	Wang Xinyu Dalian University of Technology, CHINA
14:40-15:00	Effects of the operating condition and the geometric parameter on the mass transfer rate of Non-Newtonian in the wavy-walled tubes for pulsatile flow	Zhu Donghui Dalian University of Technology, CHINA
15:00-15:20	Reverse Electrodialysis (RED) power generation by mixing sea water and river water	Soroush Mehdizadeh Yamaguchi University, JAPAN

General Discussions

15:20-17:30	General Discussions
17:30-17:40	Best Presentation Award Ceremony

November 23(Thu.),2017

8:30	Move to Nagasaki by Charters Bus
10:15-11:05	Guided Tour (Mitsubishi Heavy Industries, Ltd.)

November 24(Fri.),2017

9:00	Move to Imari by Chartered Bus
10:30-11:30	Guided Tour (Namura Shipbuilding Co., Ltd.)
14:30-17:00	Guided Tour (Genkai Energy Park)
17:00	Move to Hakata by Chartered Bus

November 25(Sat.),2017

9:00-10:30	Short Presentation by Young Researchers
10:30-11:00	Closing Ceremony

ベストプレゼンテーション賞受賞者 (5名)

氏名 (国名)	所属	発表題目
Carwyn Frost (UK)	Queen's University Belfast	Tidal Turbine Testing: Spanning the Gap between the Laboratory and Tidal Test Site Experiments
Nathan Tom (USA)	National Renewable Energy Laboratory	Development of a Nearshore Oscillating Surge Wave Energy Converter with Variable Geometry
Frank Geschiere (Netherlands)	Bluerise B.V.	Modeling and model validation of the performance of an ammonia-water OTEC demo plant using advanced condenser models
Ristiyanto Adiputra (Indonesia)	Kyushu University	Preliminary Design of an 100 MW Ocean Thermal Energy Conversion (OTEC) Power Plant in Indonesia
Soroush Mehdizadeh (Iran)	Yamaguchi University	Reverse Electrodialysis (RED) power generation by mixing sea water and river water



IOES 伊万里施設前集合写真



IOES 伊万里研究施設見学



発表会場での集合写真



寺本理事 挨拶



特別講義



若手研究者発表の様子



総合討論



総合討論での発表



ベストプレゼンテーション賞授賞者



企業視察



修了時集合写真

第 11 回 海洋エネルギーに関する国際セミナー2018

日付：2018 年 3 月 7 日（水）

会場：佐賀大学 海洋エネルギー研究センター 伊万里サテライト

第 11 回海洋エネルギーに関する国際セミナー(International Seminar on Ocean Energy 2018)が佐賀大学海洋エネルギー研究センター伊万里サテライトで開催された。今年度は海洋温度差発電分野から University of Reunion Island の Prof. Jean Castaing-Lasvignottes、波力発電分野から National Taiwan Ocean University の Prof. Tzang, Shiaw-Yih, 潮流発電分野から当センターの金元教授に講演を依頼した。参加者は 46 名であった。

Prof. Jean Castaing-Lasvignottes からはフランスのレ・ユニオン島における OTEC 開発の展望について講演があった。Prof. Tzang, Shiaw-Yih からは台湾における可動物体型波力発電の研究についての講演があった。金元教授からは相反転方式潮流発電ユニットを用いた潮流発電の研究について講演があった。

講演プログラム

PROGRAM:

14:00-14:10	Opening Remarks Director Prof. Shuichi Nagata
14:10-15:10	"OTEC in France: The Present Situation and Future Prospects" Prof. Jean Castaing-Lasvignottes University of Reunion Island
15:10-16:10	"Research on Wave Resources in Northeastern Coastal Waters and Bottom-Hinged OWSC of NTOU, Taiwan" Prof. Tzang, Shiaw-Yih Department of Harbor and River Engineering, National Taiwan Ocean University
16:10-16:25	Break
16:25-17:25	"Counter-Rotating Type Power Unit Playing Outstandingly at Offshore" Prof. Toshiaki Kanemoto Institute of Ocean Energy, Saga University
17:25-17:30	Closing Remarks Deputy director Prof. Yasuyuki Ikegami
18:00-20:00	Social gathering (交流会)



Castaing-Lasvignottes, Jean 教授



Tzang, Shiaw-Yih 教授



Kanemoto, Toshiaki 教授

平成 29 年度 佐賀大学海洋エネルギー研究センター成果発表会

日付：平成 29 年 3 月 8 日

会場：佐賀大学 海洋エネルギー研究センター 伊万里サテライト

本センターでは、学内外の方々へ向けて教職員の 1 年間の研究活動について報告を行うために、毎年度末に成果発表会を開催しています。今年度の成果発表会では、学内外から 44 名の参加があり、海洋温度差部門で 3 件、波力発電部門で 2 件、潮流発電部門で 2 件、洋上風力発電関係で 1 件、水素関連で 1 件、計 9 件の研究発表が行われ、会場の参加者を交えた活発な意見交換も行われました。

プログラム:

- | | | |
|-------------|--|------------|
| 10:00-10:10 | センター自己評価・点検 | センター長 |
| 10:10-10:30 | 海洋温度差発電システムの高性能化に関する研究 | 池上康之 |
| 10:30-10:50 | プレート式蒸発器伝熱面上の単一キャビティからの核沸騰の可視化 | 有馬博史 |
| 10:50-11:00 | 休憩 | |
| 11:00-11:20 | 海洋温度差発電の最適化に関する研究 | 安永 健 |
| 11:20-11:40 | 波力発電装置の二次変換に関する研究 | 今井康貴 |
| 11:40-12:00 | 衝動タービンを装備した固定式振動水柱型波力発電装置のエネルギー変換効率に関する発電実験 | 村上天元 |
| 12:00-13:10 | 昼食 | |
| 13:10-13:30 | 水素吸蔵合金を用いた副生水素回収システムの動特性解析 | 光武雄一 |
| 13:30-13:50 | スパー型洋上風力発電施設の形状改良に関する研究 | 石田茂資 |
| 13:50-14:00 | 休憩 | |
| 14:00-14:20 | A Numerical Study on the Shrouded Diffuser Augmented Counter-Rotating Type Tidal Stream Power Unit | HoYun Jung |
| 14:20-14:40 | Undersea Noise and Scale Effect of Counter-rotating Propellers in Tidal Stream | Liu Pin |
| 14:40-14:45 | 閉会挨拶 | 副センター長 |
| 15:00-16:30 | 施設見学会 | |

2017 年度 佐賀大学海洋エネルギー研究センター 伊万里サテライト・オープンラボ

日付：2017 年 7 月 15 日

会場：佐賀大学海洋エネルギーセンター 伊万里サテライト

佐賀大学は 2017 年 7 月 15 日（土）に、佐賀大学海洋エネルギー研究センター伊万里サテライトのオープンラボ（施設見学会）を開催しました。本センター所属の教職員や学生により、海洋温度差発電、波力発電、潮流発電などの模型を用いた実演が行われ、その他にも、施設紹介ビデオ上映や、自転車発電、屋外での燃料電池自動車の展示・試乗や科学教室も実施しました。

また、今年 3 回目となる「第 3 回全国海エネ絵はがきコンテスト」には、251 枚の作品の応募があり、その中から最優秀賞、優秀賞、入選、特別賞に小中学生 19 名の入賞作品が選ばれ、当日午後 1 時から表彰式を行いました。

さらに、海洋エネルギーをテーマとした「公開講座」を各テーマ 25 分間の講義形式で実施しました。

今回は全国から 184 名（伊万里市内 80 名、伊万里市外 105 名）の方々にご来場頂き、「子供が興味を持って楽しめてとても良かった」「色んな実験を見れてよかった」、「とても楽しかったのでまた来たい」等の感想をいただきました。

展示内容

施設紹介映像	Mini OTEC
30kW OTEC 実験設備	海水淡水化実験装置
海洋深層水環境実験装置	海洋流体エネルギー実証試験水槽
水素実験装置	潮流発電実験装置
総合監視室	化学分析室
リチウム回収実験室	国際貢献展示室
地域貢献展示（伊万里市）	燃料電池自動車（FCV）

公開講座

講演題目	講演者
海洋温度差発電	池上康之 教授
熱交換器	有馬博史 准教授
波力発電	永田修一 教授



海洋温度差発電模擬装置



波力発電模擬装置



自転車発電装置



潮流発電試験装置



科学教室



絵葉書コンテスト表彰



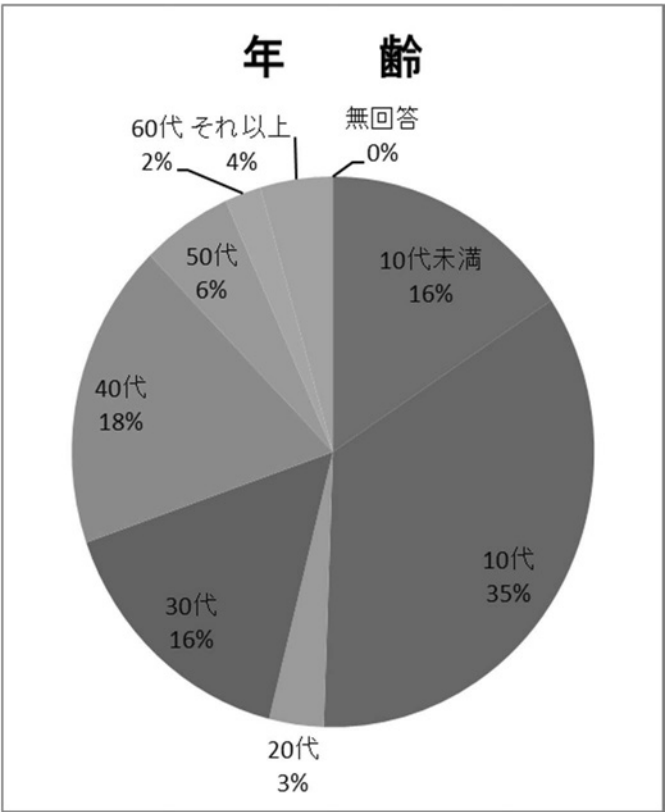
公開講座の様子



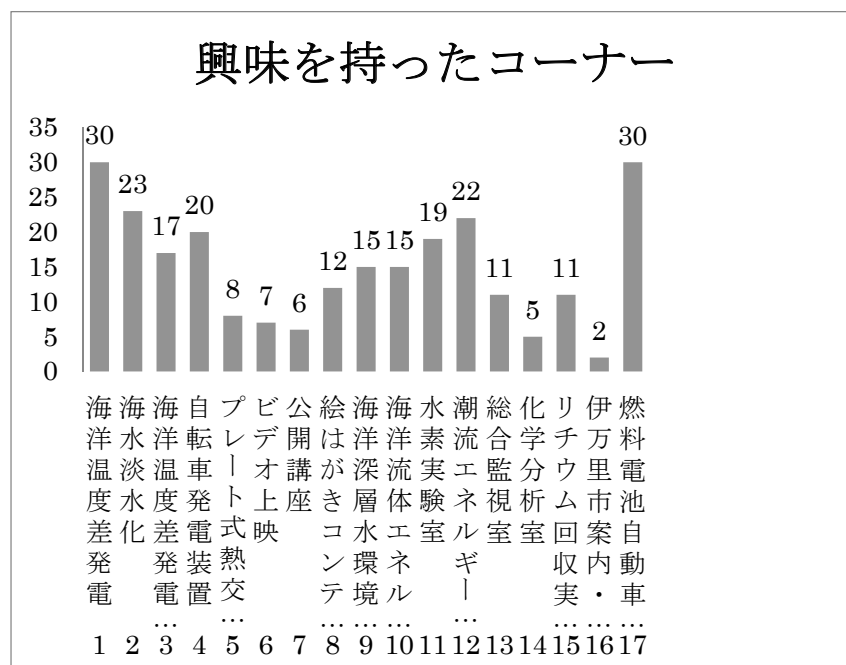
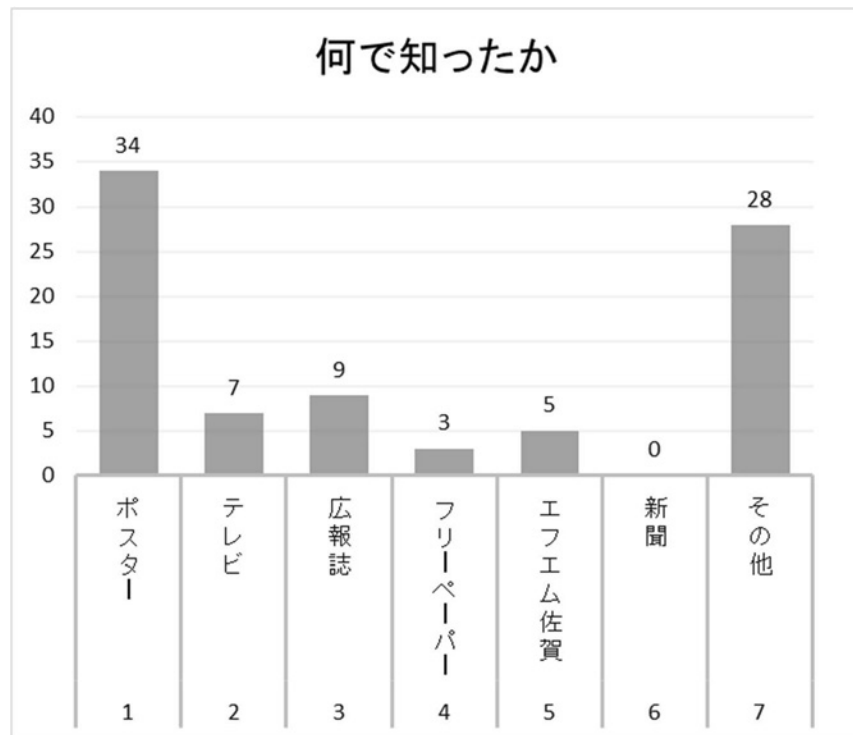
FCV の展示・試乗

見学者内訳

年代	人数
10 代未満	14
10 代	31
20 代	3
30 代	14
40 代	16
50 代	5
60 代	2
それ以上	4
合計	89



アンケート結果



2017 年度見学会実績

海洋エネルギー研究センター伊万里サテライト（実験施設）では、研究成果の公開およびエネルギー環境教育の推進を目的として、実験施設の一般公開を行っている。見学は研究教育の都合上、毎週祝祭日を除く木曜日と金曜日の 2 日間、午後 2 時から午後 4 時まで受け入れている。見学会は約 1 時間半のコースで、教職員が館内を案内する。また、見学者にはパンフレットを配布し、詳細な情報を提供している。

見学者内訳

所属	人数
大学・研究機関	392
行政・政府	84
財団・協会	80
民間	76
小中高等学校関係	357
メディア	1
一般	163
オープンラボ	184
その他	18
合計（うち外国人）	1359 (190)

海外からの訪問者

インドネシア、タイ、バングラディシュ、中国、リトアニア、台湾、エジプト、スウェーデン、韓国、ニュージーランド、イラン、オランダ、フィリピン、シンガポール、フランス、インド、マレーシア、パラオ、ポルトガル、イギリス、アメリカ

佐賀大学オープンキャンパス 2017 における海洋エネルギー研究センターの 企画展示「海洋エネルギーへの挑戦」

日時：2017 年 8 月 10 日 10:00～15:30

会場：佐賀大学本庄キャンパス 附属図書館 4 階 会議室

海洋エネルギー研究センターは、本学の本庄キャンパスで開催された「佐賀大学オープンキャンパス 2017」で企画展示を行いました。本企画では、ビデオ上映やパネルなどにより、下記についての紹介を行いました。

- (1) 海洋エネルギー研究センター
- (2) 久米島サテライト
- (3) 海洋温度差発電システム
- (4) 熱交換器
- (5) 波力発電システム
- (6) 潮流発電システム

組織

氏名	職名	備考
永田 修一	教授	センター長
池上 康之	教授	副センター長
光武 雄一	教授	
石田 茂資	教授	
木上 洋一	教授	2017.10.1 ～
金元 敏明	特任教授	
門出 政則	特任教授	2017.10.1 ～
杉 剛直	准教授	
有馬 博史	准教授	
今井 康貴	准教授	
村上 天元	准教授	
安永 健	助教	
AHMED MOHAMED GALAL ABDELMONEIM MOHAMED	客員教授	～ 2017.5.31
大渡 啓介	教授（併任）	（工学系研究科）
奥村 浩	教授（併任）	（工学系研究科）
木上 洋一	教授（併任）	（工学系研究科） ～2017.9.30
荒木 宏之	教授（併任）	（低平地沿岸海域研究センター）
檜澤 秀木	教授（併任）	（経済学部）
後藤 聡	教授（併任）	（工学系研究科）

角 和博	教授（併任）	（教育学部）
林 信行	教授（併任）	（農学部）
大和 武彦	教授（併任）	（工学系研究科）
渡 孝則	教授（併任）	（工学系研究科）
塩見 憲正	准教授（併任）	（工学系研究科）
浦田 和也	技術専門職員	
Jung HoYun	研究機関研究員	
柳 品	研究機関研究員	
森崎 敬史	産学官連携研究員	
岩崎 君夫	技能補佐員	
松本 理恵	技能補佐員	
吉武 幸士郎	技能補佐員	
北村 陽子	技能補佐員	～ 2017.4.30
久保田 健次	技能補佐員	2017.5.15 ～
廣 智恵	技術補佐員	
馬場 美智留	事務補佐員	
水町 妃呂美	事務補佐員	～ 2017.7.18
川崎 康子	事務補佐員	
飯盛 裕子	事務補佐員	
井原 真理子	事務補佐員	2017.7.19 ～

業 績 集

学術論文

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
Ohto, K. Ohta, S. Huang, K. Kwakita, H. Inoue, K.	Adsorption Behavior of Dithiocarbamate β -Chitosan Gels for Cadmium (II)	Research & Reviews: Journal of Material Sciences	5	3	1-9	2017	4
Kim, J.-Y. Priastomo, Y. Morisada, S. Kawakita, H. Ohto, K. Kim, Y.	Synthesis of a Novel Dibenzylamide Derivative of p-tert-Octylcalix[4]arene and its Extraction Properties Towards Noble Metal Ions	Australian Journal of Chemistry	70	5	450-455	2017	4
Li, J. Wang, B. Sugi, T. Zhang, Y. Nakamura, M.	Automatic Sleep Spindle Detection with EEG Based on Complex Demodulation Method and Decision Tree Model	Journal of Biomedical Science and Engineering	10		10-17	2017	5
Ohto, K. Furugou, H. Yoshinaga, T. Morisada, S. Kwakita, H. Inoue, K.	Precious Metal Extraction with Thiol and Dithioether Derivatives of Trident Molecule	Solvent Extraction Research and Development	24	2	77-88	2017	5
Chen, D.-W. Nagata, S. Tzang, S.-Y. Imai, Y. Hsieh, C.-M. Chen, J.-H.	A Time-Domain Numerical Tool for Wave Energy Attenuator with the SPH Method	Journal of Marine Science and Technology	25	6	752-760	2017	6
Khunathai, K. Inoue, K. Ohto, K. Kawakita, H. Kurata, M. Atsumi, K. Fukuda, H. Alam, S.	Recovery of Silver Using Some Chemically Modified Microalgal Residues	Materials	10	6	636-644	2017	6
永田修一 大窪慈生 今井康貴 村上天元 岡本豊	渦法による浮体構造物の非線形 波浪中挙動解析法の開発-第3報 浮体式振動水柱型波力発電装置 の一次変換性能解析	日本船舶海洋 工学会論文集	25		21-31	2017	6
Funami, Y Nakanishi, Y Lee, N.-J. Huang, B. Kanemoto, T.	Counter-Rotating Type Horizontal-Axis Bidirectional Propellers for Tidal Stream Power Unit	Journal of Power and Energy Engineering	5		34-44	2017	7

Wang, C.-Z. Do, J.-H. Akther, T. Feng, X. Matsumoto, T. Tanaka, J. Redshaw, C. Yamato, T.	Synthesis and Fluorescence Emission Properties of D- π -D Monomers Based on Dithieno[3,2-b:2',3'-d]thiophene	Journal of Luminescence	188		388-39 3	2017	8
Kowser, Z. Rayhan, U. Rahman, S. Georgiou, P. E. Yamato, T.	A Fluorescence "turn-on" Sensor for Multiple Analytes: OAC- and F- Triggered Fluorogenic Detectoin of Zn ²⁺ in a Co-operative Fashion	Tetrahedron	73	36	5418-5 424	2017	9
松田吉隆 浦吉大輝 杉剛直 後藤聡 森崎敬史 安永健 池上康之	サイクル解析に基づいた海洋温 度差発電ポテンシャルモデルの 構築	システム制御 情報学会論文 誌	30	8	297-30 4	2017	8
Murakami, T. Imai, Y. Nagata, S. Takao, M. Setoguchi, T.	Experimental Research on Performances of Air Turbines for a Fixed Oscillating Water Column-Type Wave Energy Converter	International Journal of Advanced Engineering Research and Science	4	9	40-47	2017	9
Yasunaga, T. Ikegami, Y.	Application of Finite-time Thermodynamics for Evaluation Method of Heat Engines	Energy Procedia	129		995-10 01	2017	9
Kowser, Z. Rayhan, U. Rahman, S. Georgiou, P. E. Yamato, T.	A Fluorescence "turn-on" Sensor for Multiple Analytes: OAC- and F- Triggered Fluorogenic Detectoin of Zn ²⁺ in a Co-operative Fashion	Tetrahedron	73	36	5418-5 424	2017	9
Goto, S Yano, O Matsuda, Y Sugi, T Egashira, N	Development of Hands-Free Remote Operation System for a Mobile Robot Using EOG and EMG	Electronics and Communication s in Japan	100	10	38-47	2017	10
Kobwittaya, K. Oishi, Y. Torikai, T. Yada, M. Watari, T. Luitel, H. N.	Bright Red Upconversion Luminescence from Er ³⁺ and Yb ³⁺ Co-doped ZnO-TiO ₂ Composite Phosphor Powder	Ceramics International	43	16	13505- 13515	2017	11

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
有馬博史 稲富諒 松田昇一	久米島海洋深層水を利用した海水淡水化用プレート式熱交換器の伝熱性能に関する研究	海洋深層水研究	18	1	8-17	2017	10
Matsuda, Y. Urayoshi, D Goto, S. Sugi, T. Morisaki, T. Yasunaga, T. Ikegami, Y.	Seawater Flow Rate Regulation of OTEC Plant Using Uehara Cycle by Considering Warm Seawater Temperature Variation	International Journal of Innovative Computing, Information and Control	13	6	2123-2131	2017	11
Matsuda, Y. Sugi, T. Goto, S. Egashira, N.	Teleoperation System for a Mobile Robot with Visual Servo Mechanism based on Automatic Template Generation	Artificial Life and Robotics	22	4	490-496	2017	10
Jung, H. Kanemoto, T. Liu, P.	A Numerical Prediction of Tip Vortices from Tandem Propellers in the Counter-Rotating Type Tidal Stream Power Unit	Journal of Power and Energy Engineering	5		66-74	2017	12
Akther, T. Islam, M. M. Matsumoto, T. Tanaka, J. Thuery, P. Redshaw, C. Yamato, T.	Synthesis and Structure of a Chiral Arene-bridged [2.4]Metacyclophane	Tetrahedron	74	2	329-335	2018	1
Wu, C. Wang, C.-Z. Zhu, Q. Zeng, X. Redshaw, C. Yamato, T.	Click Synthesis of a Quinoline-functionalized Hezahomotrioxacalix[3]arene: A Turn-on Fluorescence Chemosensor for Fe ³⁺	Sensors and Actuators B: Chemical	254		52-58	2018	1
Dou, H. Zhang, S. Yang, H. Setoguchi, T. Kinoue, Y.	Effect of Rotational Speed on the Stability of Two Rotating Side-by-side Circular Cylinders at Low Reynolds Number	Journal of Thermal Science	27	2	125-134	2018	2
Matsuda, Y. Yoshitake, T. Sugi, T. Goto, S. Morisaki, T. Yasunaga, T. Ikegami, Y.	Construction of a Static Model for Power Generation of OTEC Plant Using Uehara Cycle Based on Experimental Data	Journal of Marine Science and Engineering	6	2	18	2018	2
Ikegami, Y. Yasunaga, T. Morisaki, T.	Ocean Thermal Energy Conversion Using Double-Stage Rankine Cycle	Journal of Marine Science and Engineering	6	2	21	2018	2

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
Yasunaga, T. Noguchi, T. Morisaki, T. Ikegami, Y.	Basic Heat Exchanger Performance Evaluation Method on OTEC	Journal of Marine Science and Engineering	6	2	32	2018	2
Kobwittaya, K. Oishi, Y. Torikai, T. Yada, M. Watari, T.	Nearly Pure NIR Upconversion Luminescence in Tm ³⁺ , Yb ³⁺ Co-doped ZnO-TiO ₂ Composite Phosphor Powder	Vacuum	148		286-29 5	2018	2
Kaji, A. Kinoue, Y. Shiomi, N. Setoguchi, T.	Effect of Vortex Design on a Half-Ducted Axial Flow Fan (In the Case of Forced Vortex Design)	International Journal of Fluid Machinery and Systems	11	1	46-54	2018	3
安永健 森崎敬史 池上康之	OTEC の有効熱エネルギーに関 する研究	日本機械学会 論文集 B 編	84	859	17-003 98	2018	3

国際会議 Proceedings

著者	題名	会議名	年	月	場所
Lee, N-J. Kanemoto, T. Huang, B. Kim, J-H.	Effect of pitch angle of blades on performance of tandem propellers in bidirectional type tidal stream power unit	The 13th International Symposium on Experimental Computational Aerothermodynamics of Internal Flows	2017	5	Okinawa (Japan)
Funami, Y. Nakanishi, Y. Lee, N-J. Kanemoto, T.	Bidirectional Type Horizontal-Axis Propeller Installed in Tidal Stream Power Unit	The 13th International Symposium on Experimental Computational Aerothermodynamics of Internal Flows	2017	5	(Okinawa) Japan
Kim, H-J. Kanemoto, T. Setoguchi, T. Kinoue, Y. Galal, A. M.	Prediction of Tip Vortices from Tandem Propellers in Counter-Rotating Type Tidal Stream Power Unit	The 13th International Symposium on Experimental Computational Aerothermodynamics of Internal Flows	2017	5	Okinawa (Japan)
Murakami, T. Imai, Y. Nagata, S. Takao, M. Setoguchi, T.	Experimental Research on Efficiency in a Fixed Oscillating Water Column-Type Wave Energy Converter with Generator	The 13th International Symposium on Experimental and Computational Aerothermodynamics of Internal Flows	2017	5	Okinawa (Japan)
Shiomi, N. Kaji, A. Kinoue, Y. Setoguchi, T.	Design and Performance of a Half-Ducted Propeller Fan	The 13th International Symposium on Experimental and Computational Aerothermodynamics of Internal Flows	2017	5	Okinawa (Japan)
Takao, M. Yamada, K. Okuhara, S. Alam, M. Kinoue, Y. Setoguchi, T.	A Counter-Rotating Impulse Turbine for Wave Energy Conversion	The 13th International Symposium on Experimental and Computational Aerothermodynamics of Internal Flows	2017	5	Okinawa (Japan)
Kim, J. Choi, Y. S. Lee, K. Y. Kanemoto, T. Kim, J. H.	A Study on the Internal Flow Characteristics between Counter-Rotating Runners at Turbine Mode of a Counter-Rotating Type Pump-Turbine	The 10th International Conference on Computational Heat Mass and Momentum Transfer	2017	5	Soul (Korea)
Kim, J. W. Shu, J. W. Choi, Y. S. Lee, K. Y. Kanemoto, T.	Efficiency Improvement of a Counter-Rotating Type Pump-Turbine Unit Through Optimization Technique	The 10th International Conference on Computational Heat Mass and Momentum Transfer	2017	5	Soul (Korea)

著者	題名	会議名	年	月	場所
Kim, J. H.					
Takao, M. Katsube, H. Alam, M. Okuhara, S. Kinoue, Y.	A Dual Turbine System for Wave Energy Conversion (Effect of Impulse Turbine Geometry on the Performance)	The 10th International Conference on Computational Heat, Mass and Momentum Transfer	2017	5	Soul (Korea)
Kinoue, Y. Liu, P. Shiomi, N. Takao, M. Murakami, T. Imai, Y. Nagata, S.	Numerical Investigation on Bi-Directional Impulse Turbine with Flow Collector for Tidal Energy Conversion	The 10th International Conference on Computational Heat, Mass and Momentum Transfer	2017	5	Soul (Korea)
Kaji, A. Kinoue, Y. Shiomi, N. Setoguchi, T.	Effect of Vortex Design on a Half-Ducted Axial Flow Fan (In the Case of Forced Vortex Design)	The 10th International Conference on Computational Heat, Mass and Momentum Transfer	2017	5	Soul (Korea)
Nagata, S. Imai, Y. Murakami, T. Okamoto, Y.	Numerical Analysis on Drift Force Acting on a Floating OWC-Type Wave Energy Converter “ Backward Bent Duct Buoy” by Vortex Method	The 27th International Ocean and Polar Engineering Conference	2017	6	San Francisco (USA)
Kawashima, R. Kanemoto, T. Samura, I. Kuwano, K.	Power Generation by Counter-Rotating Type Tidal Stream Power Unit	The 27th International Ocean and Polar Engineering Conference	2017	6	San Francisco (USA)
Lee, N.-J. Kanemoto, T. Samura, I. Kuwano, K.	Performance of Tandem Propellers Counter-Rotating Oblique to Tidal Stream	The 27th International Ocean and Polar Engineering Conference	2017	6	San Francisco (USA)
Kawashima, R. Kanemoto, T. Samura, I. Kuwano, K.	Power Generation by Counter-Rotating Type Tidal Stream Power Unit	The 27th International Ocean and Polar Engineering Conference	2017	6	San Francisco (USA)
Goto, S. Matsuda, Y. Sugi, T. Morisaki, T. Yasunaga, T. Ikegami, Y. Egashira, N.	Web Application for OTEC Simulator Using Double-stage Rankine Cycle	The 20th World Congress, The International Federation of Automatic Control	2017	7	Toulouse (France)
Matsuda, Y. Goto, S. Sugi, T. Morisaki, T. Yasunaga, T. Ikegami, Y.	Control of OTEC Plant Using Double-stage Rankine Cycle Considering Warm Seawater Temperature Variation	The 20th World Congress, The International Federation of Automatic Control	2017	7	Toulouse (France)

著者	題名	会議名	年	月	場所
Takao, M. Alam, M. Fukuma, S. Okuhara, S. Kinoue, Y.	A Dual-Turbine System for Wave Energy Conversion	The 12th European Wave and Tidal Energy Conference	2017	8	Cork (Ireland)
Takao, M. Alam, M. Yamada, K. Okuhara, S. Kinoue, Y.	Performance Prediction of a Counter-Rotating Impulse Turbine for Wave Energy Conversion	The 12th European Wave and Tidal Energy Conference	2017	8	Cork (Ireland)
Takao, M. Alam, M. Fukuma, S. Okuhara, S. Kinoue, Y.	A Dual-turbine System for Wave Energy Conversion	The 12th European Wave and Tidal Energy Conference	2017	8	Cork (Ireland)
Ohto, K. Kurniawan, Y. S. Sathuluri, R. R. Kawakita, H. Morisada, S. Iwasaki, W. Miyazaki, M.	Recovery of Precious Metals with Calix[4]arene Derivatives as Extraction Reagents Using the Droplet Microreactor System	The 5th International Symposium & Exhibition on Aqua Science and Water Resources	2017	8	Fukuoka (Japan)
Ohto, K.	Size-discriminative Allosteric Extraction of Alkali Metals with Propyl-acetic Acid Crossed Type Calix[4]arene	The 9th International Symposium on Nano & Supramolecular Chemistry	2017	9	Napoli (Italy)
Matsuda, Y. Eishima, Y. Goto, S. Sugi, T. Morisaki, T. Yasunaga, T. Ikegami, Y.	Construction of Water Level Model for After Condenser in Spray Flash Desalination System via Stochastic Process	The 49th ISCIE International Symposium on Stochastic Systems Theory and Its Applications	2017	9	Hiroshima (Japan)
Yasunaga, T. Ikegami, Y.	Application of Finite-time Thermodynamics for Evaluation Method of Heat Engines	The 4th International Seminar on ORC Power Systems	2017	9	Milan (Italy)
Matsuda, Y. Goto, S. Sugi, T. Morisaki, T. Yasunaga, T. Ikegami, Y.	Evaluation of a Liquid Level Model of Separator in an OTEC Experimental Plant Using Uehara Cycle via Different Experimental Data	Society of Instrument and Control Engineers 2017	2017	9	Kanazawa (Japan)
Matsuda, Y. Goto, S. Sugi, T. Morisaki, T. Yasunaga, T. Ikegami, Y.	An Improvement on LQG Controller for Liquid Level Control of Separator in an OTEC Experimental Plant Using Uehara Cycle	Society of Instrument and Control Engineers 2017	2017	9	Kanazawa (Japan)

著者	題名	会議名	年	月	場所
Ohto, K. Murakami, H. Morisada, S. Kawakita, H. Gloe, K. Weigand, J.	Extractive Separation of Rare Earth Metals with Trident Phosphonic Acid Derivatives	The 8th International Conference on Materials Engineering for Resources	2017	10	Akita (Japan)
Noguchi, T. Yasunaga, T. Morisaki, T. Ikegami, Y.	Study of Optimization Method for Reduction of Required Seawater on OTEC	2017 International Ocean Energy Symposium & 16th Joint Young Researcher Forum	2017	10	Fukuoka (Japan)
Sakaguchi, M. Hayamizu, Y. Gonda, T. Morita, S. Takao, M. Kinoue, Y. Setoguchi, T.	A Straight-bladed Vertical Axis Turbine for Wave Energy Conversion: Effect of Guide Vane Solidity on the Performance	The 9th JSME-KSME Thermal and Fluids Engineering Conference	2017	10	Okinawa (Japan)
Takao, M. Fukuma, S. Alam, M. Okuhara, S. Kinoue, Y.	Combined Turbine System for Wave Energy Conversion	The 9th JSME-KSME Thermal and Fluids Engineering Conference	2017	10	Okinawa (Japan)
Yamada, K. Takao, M. Alam, M. Okuhara, S. Kinoue, Y.	Counter-rotating Impulse Turbine for Bi-directional Flow	The 9th JSME-KSME Thermal and Fluids Engineering Conference	2017	10	Okinawa (Japan)
Yasunaga, T. Ikegami, Y.	OTEC Performance Evaluation and Optimum Design Methods	The 5th International OTEC symposium	2017	11	Reunion (France)
Ikegami, Y. Yasunaga, T.	Advanced OTEC Technologies	The 5th International OTEC symposium	2017	11	Reunion (France)
Takao, M. Yamada, K. Alam, M. Okuhara, S. Kinoue, Y. Nagata, S.	Counter-rotating impulse turbine for wave energy conversion - Performance improvement by means of middle vane	2017 IEEE 6th International Conference on Renewable Energy Research and Applications	2017	11	USA (San Diego)
Inada, J. Watari, T. Torikai, T. Yada, M. Matsuo, H. Kawahara, A.	Characteristics of Zn ₂ SiO ₄ Crystal Grown in Zinc Glaze	The 34th International Japan-Korea Seminar on Ceramics	2017	11	Hamamatsu (Japan)

Arimura, K. Watari, T. Yada, M. Torikai, T. Matsuo, H. Kawahara, A.	Formation and Characterizations of Fluorescent Willemite Crystal Glaze	The 34th International Japan-Korea Seminar on Ceramics	2017	11	Hamamatsu (Japan)
Ohto, K. Kurniawan, Y. S. Sthuluri, R. R. Macki, M. Iwasaki, W. Mrorisada, S. Kawakita, H. Miyazaki, M.	Stepwise Extractive Separation of Precious Metals with Macrocyclic Compounds Using Microreactor System	The 21th International Solvent Extraction Conference 2017	2017	11	Miyazaki (Japan)
Ohto, K.	Platinum Extraction with Fluorinated Secondary Amide Compound	2017 International Symposium on Separation Science and Technology	2017	11	Vienna (Austria)
Ohto, K. Adhikari, B. B. Priastomo, Y. Sadamatsu, H. Endou, H.	Capability of Calixarenes as Gas Storage Materials	The 12th Deagu University – Saga University Joint Seminar	2017	11	Gyeongsan (Korea)
Jung, H. Liu, P. Kanemoto, T.	A Numerical Study on Shrouded Tandem propellers of Counter-Rotating Type Tidal Stream Power Unit	The 14th Asian International Conference on Fluid Machinery	2017	11	Suzhou Jiangsu (China)
Liu, P. Jung, H. Murakami, T. Kanemoto, T.	Scale effect and Undersea Noise of Counter-Rotating Propellers installed in Tidal Stream Power Unit	The 14th Asian International Conference on Fluid Machinery	2017	11	Suzhou Jiangsu (China)
Huang, B. Chen, X. M. Zhang, D. H. Kanemoto, T.	Multi-Objective Optimization of Blade Profiles for a Horizontal Axis Tidal Turbine	The 14th Asian International Conference on Fluid Machinery	2017	11	Suzhou Jiangsu (China)
Minoda, M. Sugi, T. Matsuda, Y. Goto, S. Yamasaki, T. Oishi, A. Egashira, N.	Development of Communication System Using Eye Movement Extraction via Image Processing with Blink Detection	The 49 th ISCIE International Symposium on Stochastic Systems Theory and Its Applications	2017	11	Hiroshima (Japan)

著者	題名	会議名	年	月	場所
Baba, R. Sugi, T. Matsuda, Y. Goto, S. Yamasaki, T. Oishi, A. Egashira, N.	Eye Movement Detection Using EOG for Communication of People with Disabilities	The 49th ISCIE International Symposium on Stochastic Systems Theory and Its Applications	2017	11	Hiroshima (Japan)
Matsuda, Y. Eishima, Y. Goto, S. Sugi, T. Morisaki, T. Yasunaga, T. Ikegami, Y.	Construction of Water Level Model for After Condenser in Spray Flash Desalination System via Stochastic Process	The 49th ISCIE International Symposium on Stochastic Systems Theory and Its Applications	2017	11	Hiroshima (Japan)
Minoda, M. Sugi, T. Matsuda, Y. Goto, S. Yamasaki, T. Oishi, A. Egashira, N.	Development of Communication System Using Eye Movement Extraction via Image Processing with Blink Detection	The 49th ISCIE International Symposium on Stochastic Systems Theory and Its Applications	2017	11	Hiroshima (Japan)
Kuroiwa, H. Morisada, S. Kawakita, H. Ohto, K.	Elucidation for Role of Underhydrated Water Molecules on Alkali Metal Extraction for New Molecular Design	The 30th Int. Symposium on Chemical Engineering	2017	12	Daejeon (Korea)
Arima, H. Hashimoto, T. Urayama, N.	Visualization of Nuclear Boiling Bubbles from Single Cavity Under FC-72 Forced Convection Flow	The 11th Pacific Symposium on Flow Visualization and Image Processing	2017	12	Kumamoto (Japan)
Tagami, N. Matsuda, Y. Sugi, T. Goto, S. Egashira, N.	Construction of Remote Operation System of a Mobile Robot Arm Using Image Information and P Control	The 21th International Symposium on Artificial Life and Robotics 2018, The Third International Symposium on Bio Complexity 2018	2018	1	Beppu (Japan)
Mitsutake, Y. Fukuda, A. Liu, P. Mohamed, S.A Li, X. J. Tsubaki, K. Monde, M.	Measurement of surface temperature and heat flux on vicinity of wetting front during subcooled water jet quenching	The 10th International Conference on Boiling and Condensation Heat Transfer	2018	3	Nagasaki (Japan)

国内学会発表

著者	題名	会議名	年	月	場所
永島好浩 松田吉隆 後藤聡 杉剛直 森崎敬史 安永健 池上康之	スプレーフラッシュ蒸発式海水淡水化 システムのフラッシュ室水位制御	第 61 回システム 制御情報学会研 究発表講演会	2017	5	京都
河野裕毅 迫田直也 新里寛英 河野正道 光武雄一 門出政則 高田保之	高圧水素放出時の容器内熱伝達	第 54 回日本伝熱 シンポジウム	2017	5	埼玉
光武雄一 福田彰人 椿耕太郎 Shanzida Shanta	サブクール衝突噴流冷却中の高温面上 のぬれ開始温度計測	第 54 回日本伝熱 シンポジウム	2017	5	埼玉
有馬博史 管慶信 松田昇一	アルミ合金伝熱板を用いた海水淡水化 用プレート式凝縮器の伝熱特性	第 54 回日本伝熱 シンポジウム	2017	5	埼玉
塩見憲正 梶敦次 木上洋一 瀬戸口俊明	半開放型軸流ファンの設計と性能に関 する研究（ファン出口流れ場の検討）	第 77 回ターボ機 械協会総会講演 会	2017	5	東京
坂口優希 権田岳 早水庸隆 森田慎一 大塚茂 高尾学 木上洋一 瀬戸口俊明	波力発電用直線翼垂直軸タービン（性 能に及ぼす案内羽根の影響）	第 22 回動力・エ ネルギー技術シ ンポジウム講演	2017	6	豊橋
高尾学 福岡清祐 奥原真哉 アラムアシュラフル 木上洋一 瀬戸口俊明	往復流型タービンの性能比較	第 22 回動力・エ ネルギー技術シ ンポジウム講演	2017	6	豊橋

著者	題名	会議名	年	月	場所
池上康之 安永健 森崎敬史 馬場尚一郎 宮崎剛 百留忠洋 吉田弘	海底熱水温度差発電システムの性能解析に関する研究	第 22 回動力・エネルギー技術シンポジウム	2017	6	豊橋
安永健 森崎敬史 池上康之	OTEC の有効熱エネルギーに関する研究	第 22 回動力・エネルギー技術シンポジウム	2017	6	豊橋
野口貴史 安永健 森崎敬史 中野裕貴 池上康之	ランキンサイクルを用いた OTEC 発電システムの設計手法に関する研究	第 22 回動力・エネルギー技術シンポジウム	2017	6	豊橋
安永健 森崎敬史 浦田和也 池上康之	海洋熱エネルギー利用のための高性能熱交換器の開発	日本海水学会第 68 年会	2017	6	京都
木暮貴政 椎野俊秀 川原諒治 杉剛直 白川修一郎	シート型椎体振動計による心拍数計測の精度検証(第 2 報:エアマットレスのポンプ振動ノイズ混入の影響検証)	日本睡眠学第 42 回定期学術集会	2017	6	横浜
Yu, D. Ohto, K. Morisada, S. Kawakita, H.	Precious Metal Adsorption on Various Polysaccharide Polymer	第 54 回化学関連支部合同九州大会	2017	7	北九州
Kurniawan, Y. S. Sathuluri, R. R. Ohto, K. Kawakita, H. Morisada, H. Iwasaki, W. Miyazaki, M.	Evaluation of Precious Metal Ion Recovery with P-tert-octylcalix[4]arene Derivatives with Droplet-based Microreactor	第 54 回化学関連支部合同九州大会	2017	7	北九州
Akther, T. Yamato, T.	Synthesis and conformations of [2.n]metacyclophan-1-ene epoxides and their conversion to [n.1]metacyclophanes	第 54 回化学関連支部合同九州大会	2017	7	北九州
龍美月 Sathuluri, R. R. Kurniawan, Y. S. 岩崎渉 宮崎真佐也 森貞真太郎 川喜田英孝 大渡啓介	液滴マイクロリアクターを用いたカリマックス[4]アレーンテトラ酢酸による鉛の抽出分離	第 35 回九州分析化学若手の会 夏季セミナー	2017	7	朝倉

著者	題名	会議名	年	月	場所
松田吉隆 後藤聡 杉剛直 森崎敬史 安永健 池上康之	2 段ランキンサイクルを用いた海洋温度差発電プラントの目標発電出力変更を考慮した制御シミュレーション	第 60 回自動制御 連合講演会	2017	8	東京
井手順子 後藤和彦 杉剛直	STN-DBS を受けた PD 患者上下肢運動の DBS On/Off 時における特徴評価	第 25 回九州・山口機能神経外科 セミナー	2017	8	山口
永島好浩 松田吉隆 後藤聡 杉剛直 森崎敬史 安永健 池上康之	スプレーフラッシュ蒸発式海水淡水化システムの補助凝縮器水位モデルの構築	平成 29 年度(第 70 回)電気・情報 関係学会九州支 部連合大会	2017	9	沖縄
東明純輝 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 野平晴彦 久保田有一	個々の波形特徴を利用した ICU における異常脳波自動検出	SICE ライフエン 지니어リング部 門シンポジウム 2017	2017	9	岐阜
上野智広 松田吉隆 杉剛直 後藤聡	遠隔地エネルギーシステムのための模擬遠隔監視システムの構築	平成 29 年電気学 会 電子・情報・ システム部門大 会	2017	9	香川
坂口優希 早水庸隆 権田岳 森田慎一 大塚茂 高尾学 木上洋一 瀬戸口俊明	波力発電用直線翼垂直軸タービン（案内羽根の設置角の影響）	第 78 回ターボ機 械協会富山講演 会	2017	9	富山
山田航平 高尾学 奥原真哉 木上洋一 永田修一 瀬戸口俊明	波力発電用二重反転タービンに関する研究（性能に及ぼす中間羽根の影響）	第 78 回ターボ機 械協会富山講演 会	2017	9	富山
木上洋一 塩見憲正 瀬戸口俊明	減速流れにおける NACA65 翼まわりの 3 次元はく離流れに及ぼす食い違い角の影響	第 78 回ターボ機 械協会富山講演 会	2017	9	富山

著者	題名	会議名	年	月	場所
Jung, H. Kanamoto, T. Murakami, T.	A Numerical Visualization of Tip Vortices from Tandem Propellers in the Counter-Rotating Type Tidal Stream Power Unit	第 78 回ターボ機械協会富山講演会	2017	9	富山
光武雄一 椿耕太郎 Shanta, S. 副島正義	高温面上に連続液滴衝突時の非定常沸騰現象	2017 年度日本冷凍空調学会年次大会講演	2017	9	東京
大渡啓介 Priastomo, Y. 森貞真太郎 川喜田英孝	架橋型カリックス[4]アレーン樹脂による貴金属の吸着	化学工学会第 49 回秋季大会	2017	9	名古屋
五十嵐亮太 下野昌幸 福田智文 千手絢子 楠原浩一 大庭尚之 杉剛直	脳波周波数別トポグラフィー解析によるリアルタイム脳機能推定	第 22 回日本神経感染症学会総会・学術大会	2017	10	北九州
野口貴史 森崎敬史 安永健 池上康之	ランキンサイクルを用いた OTEC 発電システムの最適化に関する研究	日本機械学会九州支部 久留米講演	2017	10	久留米
安永健 野口貴史 森崎敬史 池上康之	海洋温度差発電の最適設計	2017 年度日本海水学会西日本支部秋季講演会	2017	11	高知
今井康貴 永田修一 村上天元	波力発電装置の電力変換に関する研究	日本船舶海洋工学会講演会	2017	11	広島
村上天元 今井康貴 永田修一 高尾学 瀬戸口俊明	固定式 OWC 型波力発電装置のエネルギー変換性能に関する発電実験	日本機械学会九州支部講演	2017	11	福岡
黒崎健太 塩見憲正 木上洋一 瀬戸口俊明	半開放型軸流ファンの入口形状が性能及び内部流れに及ぼす影響に関する研究	日本機械学会九州支部久留米講演会	2017	10	福岡
高崎啓輔 塩見憲正 木上洋一	双方向流れに対応した集流装置周りの流れ場に関する研究	日本機械学会九州支部久留米講演会	2017	10	福岡

著者	題名	会議名	年	月	場所
池田拓郎 後藤和彦 岡真一郎 大庭尚之 杉剛直 後藤純信	暗算負荷による定常視覚誘発電位の変化—刺激頻度 4 Hz と 8 Hz による検討—	第 47 回日本臨床神経生理学会学術大会	2017	11	横浜
大庭尚之 後藤和彦 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 池田拓郎 山崎貴男 飛松省三 後藤純信	色組み合わせに関する上下半視野パターン反転刺激時の視覚誘発電位特徴解析	第 47 回日本臨床神経生理学会学術大会	2017	11	横浜
後藤和彦 杉剛直 池田拓郎 山崎貴男 飛松省三 後藤純信	奥行運動刺激に対する視覚誘発電位の特徴解析	第 47 回日本臨床神経生理学会学術大会	2017	11	横浜
井手順子 後藤和彦 杉 剛直	STN-DBS を受けた PD 患者歩行運動の評価パラメータの有効性	第 47 回日本臨床神経生理学会学術大会	2017	11	横浜
蓑田将也 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 山崎貴男 大石文芽 江頭成人	画像情報を用いた意思伝達装置における眼球虹彩位判定	第 36 回 SICE 九州支部学術講演会	2017	11	佐賀
馬場亮輔 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 山崎貴男 大石文芽 江頭成人	重度運動障害者の目きで操作する眼電図を用いた意思伝達装置	第 36 回 SICE 九州支部学術講演会	2017	11	佐賀
中島大弥 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 野平晴彦 久保田有一	ICU ビデオ脳波モニタリングにおけるアーチファクト識別	第 36 回計測自動制御学会九州支部学術講演会	2017	11	佐賀

著者	題名	会議名	年	月	場所
河原諒治 杉剛直 後藤聡 松田吉隆 木暮貴政 白川修一郎	シート型体振動計を用いた睡眠時の心拍・呼吸・体動情報の自動検出	第36回計測自動制御学会九州支部学術講演会	2017	11	佐賀
永島好浩 松田吉隆 後藤聡 杉剛直 森崎敬史 安永健 池上康之	淡水出口バルブの動特性を考慮したスプレーフラッシュ蒸発式海水淡水化システムの補助凝縮器水位モデルの構築	第36回計測自動制御学会九州支部学術講演会	2017	11	佐賀
松田吉隆 後藤聡 杉剛直 森崎敬史 安永健 池上康之 江頭成人	ランキンサイクルを用いた海洋温度差発電プラント実時間遠隔操作のためのWebアプリケーション開発	第36回計測自動制御学会九州支部学術講演会	2017	11	佐賀
上野智広 松田吉隆 杉剛直 後藤聡	異常検知と履歴表示機能を有する遠隔地エネルギーシステムの模擬遠隔監視システム構築	第36回計測自動制御学会九州支部学術講演会	2017	11	佐賀
松田吉隆 後藤聡 杉剛直 森崎敬史 安永健 池上康之	2段ランキンサイクルを用いた海洋温度差発電実験プラントの目標発電出力変更を考慮した制御シミュレーション	第60回自動制御連合講演会	2017	11	東京
田上昇 松田吉隆 杉剛直 後藤聡 藤井道博	オートフラップゲート自動作動性能評価システムの開発	第60回自動制御連合講演会	2017	11	東京
田上昇 松田吉隆 杉剛直 後藤聡 藤井道博	オートフラップゲートの自動止水・排水作動評価システムの開発	第60回自動制御連合講演会	2017	11	東京
今井康貴 永田修一 村上天元	波力発電装置の電力変換に関する研究	日本船舶海洋工学会講演会	2017	11	広島
村上天元 今井康貴 永田修一 高尾学 瀬戸口俊明	OWC型波力発電装置のエネルギー変換性能に関する発電実験	日本船舶海洋工学会講演会	2017	11	広島

著者	題名	会議名	年	月	場所
光武雄一	高温中空ローター試験片を用いた移動高温面の下面ラミナー冷却 特性(試験片材質の影響)	日本鉄鋼協会精算技術部門第147回圧延理論部会講演会	2017	12	東京
福間清祐 高尾学 奥原真哉 アラムアシユラフル 木上洋一	波力発電用ウエルズタービン(案内羽根による性能改善のメカニズム)	日本機械学会中国・四国支部総会	2018	3	徳島
坂口優希 権田岳 早水庸隆 森田慎一 大塚茂 高尾学 木上洋一 瀬戸口俊明	波力発電用直線翼垂直軸タービンに関する実験的研究(性能に及ぼす案内羽根位置の影響)	日本機械学会中国・四国支部総会	2018	3	徳島
中島大弥 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 野平晴彦 久保田有一	ICU 記録脳波における徐波出現特性の定量評価	2018 年日本生体医工学会九州支部学術講演会	2018	3	福岡
山口峻 後藤和彦 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 池田拓郎 山崎貴男 飛松省三 後藤純信	視覚誘発電位記録の多チャンネル実時間評価・支援システムの構築	2018 年日本生体医工学会九州支部学術講演会	2018	3	福岡
浅山雄基 杉剛直 松田吉隆 後藤聡	脳波スパイク波形のテンプレート波形を用いた頭皮上分布の推定	2018 年日本生体医工学会九州支部学術講演会	2018	3	福岡
東明純輝 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 野平晴彦 久保田有一	ICU 記録脳波における異常波の二段階自動検出システム	2018 年日本生体医工学会九州支部学術講演会	2018	3	福岡
河原諒治 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 椎野俊秀 木暮貴政 白川修一郎	シート型体振動計を用いた睡眠時の心拍・呼吸検出における寝姿勢の影響	2018 年日本生体医工学会九州支部学術講演会	2018	3	福岡

著者	題名	会議名	年	月	場所
大庭尚之 後藤和彦 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 池田拓郎 山崎貴男 飛松省三 後藤純信	独立成分分析を用いた視覚誘発電位加算平均法の改善	2018 年日本生体医工学会九州支部学術講演会	2018	3	福岡

資料・解説・論説・研究報告等

著者	題名	雑誌名	Vol.	ページ	年	月
有馬博史	「The 27th International Symposium on Transport Phenomena」に参加して	スズキ財団ニュース	44	22-24	2017	8
Huan, H. Arima, H. Bian, Y. Ikegami, Y.	Pressure Drop Characteristics of Laminar Pulsatile Flow in Grooved Channel with Different Groove Lengths	佐賀大学海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	22	1-8	2017	9
羽田野袈裟義 長瀬吉行 李万元	沿い波型遊水室群内で稼働する浮体式波力発電装置の力学検討	佐賀大学海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	22	9-19	2017	9
村上天元 今井康貴 永田修一 高尾学 瀬戸口俊明	発電装置を装備した固定式 OWC 型波力発電装置のエネルギー変換効率	佐賀大学海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	22	21-25	2017	9
有馬博史 管慶信 松田昇一	スプレーフラッシュ蒸発式海水淡水化用アルミニウム合金プレート式凝縮器の伝熱性能評価	佐賀大学海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	22	27-36	2017	9
安永健 森崎敬史 池上康之	海洋温度差発電システムの性能評価手法の検討	佐賀大学海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	22	37-46	2017	9
Watanabe, T. Gunawardane, S.	Study on Pendulum Wave Power Converter for Coastal Operation of Sri Lanka	佐賀大学海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	22	47-54	2017	9
有馬博史 橋本敏生 浦山尚樹	FC-72 強制対流場における単一キャビティからの核沸騰気泡の可視化	佐賀大学海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	22	55-64	2017	9
Yasunaga, T. Fontane, K. Morisaki, T. Ikegami, Y.	Performance Evaluation of Heat Exchangers for Application to Ocean Thermal Energy Conversion System	佐賀大学海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	22	65-75	2017	9

新聞・テレビ

掲載年月日	タイトル	掲載紙
2017/4/30	久米島高の取り組み視察/鶴保沖縄相が初訪問	琉球新報
2017/5/10	鶴保大臣が久米島来島	社) 国際海洋資源エネルギー利活用推進コンソーシアム
2017/6/19	未知に挑戦 最先端の研究照会/高大連携プログラム 佐大で「科学へのとびら」	佐賀新聞
2017/7/19	海洋温度差発電 縁で交流 /伊万里サテライト 山代西小 仲里小 沖縄・久米島 実証プラント/ネット会議 児童が会話ふるさと自慢、研究に興味	佐賀新聞
2017/7/25	伊万里市と久米島町の小学生交流事業を実施しました	伊万里市ホームページ
2017/9/3	佐賀の文化に興味津々、釜山の学生ら 29 人韓日交流団が訪問	佐賀新聞
2017/9/12	海外研修助成 The 27th International Symposium on Transport Phenomena に参加して、佐賀大学海洋エネルギー研究センター 准教授 有馬 博史	SUZUKI 財団ニュース 2017 年 8 月
2017/11/29	タウンたうん：楠久・津地区で町おこしシンポ 伊万里/佐賀	毎日新聞
2017/12/16	佐賀県/2017 記者回顧<3>伊万里港開港 50 年官民一体で成長を促進-連載	西日本新聞
2018/1/9	”沖縄と佐賀結ぶ斎藤用之助/近代化に貢献した 11 代，交流見守る 14 代”	朝日新聞
2018/1/10	みなと祭りで研究 PR/ 今どき大学生/佐賀大学海洋エネルギー研究センター	佐賀新聞

放映年月日	タイトル	TV 局
2017/6/18	イベント紹介/オープンラボ	サガテレビ

